

夏期休暇期間中の家畜防疫対策強化について

夏期休暇期間中は、アフリカ豚コレラや口蹄疫などの海外悪性伝染病の病原体が日本国内に侵入するリスクが特に高くなります。家畜を飼養している皆様は伝染病発生国への渡航はできるだけ慎み、農場来場者への渡航歴確認など飼養衛生管理基準を厳守し、防疫対策の徹底をお願いします。

◎ 中国を初めとする東アジアの各国、ロシア、ヨーロッパで**アフリカ豚コレラ**が発生

(5月には北朝鮮で、6月にはラオスで新たに発生確認)

◎ 5月には中国で**口蹄疫**が発生

◎ 東アジアやヨーロッパの各国で**高病原性鳥インフルエンザ**が発生

◎ 海外からの旅客の持ち物(豚肉製品)からアフリカ豚コレラウイルスが見つかり、岐阜県等で続発している豚コレラも海外から持ち込まれた豚肉製品が原因である可能性が指摘されています。

◆万一度航される場合は、以下の点に留意してください

- ・家畜市場、農場、と畜場などの畜産関連施設へは立ち入らない
- ・動物との不用意な接触を避ける
- ・肉製品等を日本に持ち帰らない
- ・帰国の際には、空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り指導を受ける

◆帰国後の留意事項

- ・帰国後1週間は、国内農場の衛生管理区域に入らない
- ・海外で使用した衣服や靴等を畜舎付近に持ち込まない

◆衛生管理区域への病原体侵入防止について

- ・必要のない人を立ち入らせず、不要な物を持ち込まない
- ・人や物の出入りの際には、洗浄・消毒等実施し、病原体を持ち込まないようにする



飼養衛生管理基準の再徹底をお願いします

～家畜に異常を認めたら、直ちに当所に連絡願います～

京都府中丹家畜保健衛生所

福知山市字半田 371-2

TEL 0773-25-1860

FAX 0773-25-1861 (休日・夜間は転送されます)